

聖蹟桜ヶ丘教会 Garden News

〒206-0001 東京都多摩市和田6-9 日本基督教団 聖蹟桜ヶ丘教会

文と写真 八木靖之（教会主任牧師）

2020/4/26

講壇を飾る季節の彩り

4月は春の花が一斉に咲き始める季節です。私たちの会堂にも、いよいよ春がやってきました。中央のオレンジ色は多肉のカランコエ、その上の濃いピンクは河原なでしこ、そのまた上の白い一重咲きは都忘れの原種でもあるヨメナ。そして一番の背高のつぼは、まるで菜の花のような春の葉牡丹……。いつものように、ご自宅のお庭で摘んだお花たちを山地綾子さんが心を込めて活けてくださいました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今はなかなか主日の礼拝に集うことができませんが、それでもこのように、毎週の講壇には欠かさず素敵な生け花が置かれています。まるで、誰もいない会堂もお花たちがしっかりと守ってくれているような、そんな気さえしてきますね。

さりげなく、それでいて力強く。真心のいっぱい詰まったお花たちが、今日も、ひっそりとした会堂に優しい香りを放ち続けています。

裏庭に咲く八重桜

教会の裏手、ちょうど西側の窓の外に、一本の八重桜の木があるのをご存知でしょうか。これは私がまだ着任して間もない頃、いつか教会のシンボルツリーになればと、じつは内緒で植えさせていただいたものです。最初は50センチほどだった細くて弱々しい苗木も、この10年ですいぶん立派に成長し、たくさんの綺麗な花を咲かせてくれるようになりました。本当に嬉しい限りです。



葉物がたくさん入って、まるでお庭の一部を切り取ってきたかのような勢い。見る人の心を元気にさせてくれます。



今年もたくさんの花を咲かせてくれました。この成長ぶりは、まるで私たちの教会のよう？



教会正面は、お花の特等席

ここは教会の敷地のなかで最も日が当たる特等席です。毎年、秋にはたくさんの苗をこの場所に植え付けていますが、今年はまるで可愛いらしいブーケのような仕上がりになりました。白いお花はノースポール。薄紫や黄色のビオラ。名脇役でもある白妙菊のシルバーが、華やかさをさらに引き立てます。

その名は Star of Bethlehem

この真っ白で清楚な星形のお花は、その名もずばり、Star of Bethlehem 「ベツレヘムの星」という名前の植物です。お生れになったばかりの幼子イエスのもとへと東方の博士たちを導いたという、あの光り輝く星にたとえられるなんて、なんと光栄なことでしょうか。



南側から「いってらっしゃい」

教会の南側、建物に向かって左手は、ご存知のように袋小路の行き止まりです。奥には何軒かのお宅が立ち並んでいますが、出勤や通学、またお買い物でお出掛けになるご近所の皆さんに、たくさんの小菊がささやかなご挨拶。「いってらっしゃい。」

猫のあんちゃん

水やりをしていると、どこからともなく現れて、ちょこんとこちらの様子を伺っている。遊んで欲しいのかな。それとも、お腹が空いているのか。いつも何か言いたげな顔をしているように見えてしまうのは、私の考えすぎなのだろうか。ここが彼にとってまた居心地の良い場所であればいいと思う。

